

会 議 記 録				
会議の名称		総務文教常任委員会		会議場所 全員協議会室
		担当職員 数井		
日 時	令和6年3月7日（木曜日）		開 議	午前10時00分
			閉 議	午後2時44分
出席委員	◎小林 ○竹内 浅田 原野 松山 三上 山本 福井 （菱田議長）			
執行機関 出席者	井上議会事務局長、数井議会事務局次長、野澤議会事務局副課長兼総務係長事務取扱 加藤議会事務局副課長兼議事調査係長事務取扱 垣見市長公室長、篠部SDGs創生課長、岸秘書課長、川内人事課長 三宅SDGs創生課ふるさと納税担当課長 田中政策企画部長、木村財政課長、谷口情報政策課長 佐藤情報政策課副課長兼デジタル推進係長事務取扱 小森財政課予算係長、西川財政課財務係長、串崎情報政策課情報システム係長 三宅生涯学習部長、樋口市民力推進課長、小塩文化国際課長、小林生涯スポーツ課長 岡田文化国際課副課長兼文化国際係長事務取扱、廣瀬生涯スポーツ課生涯スポーツ係長 関沢市民力推進課主任 山本総務部長、牧野総務課長、藤本自治防災課長 齊藤自治防災課副課長防災・危機管理係長事務取扱 田村自治防災課主幹、堀自治防災課消防係長 野々村会計管理室長、森岡財産管理課長、山内会計課長、松井公用車管理担当課長 横山財産管理課資産マネジメント係長、中野会計課副課長兼出納係長事務取扱 森岡教育部長、川口教育部次長、阿比留教育総務課長、今西学校教育課長 樋口社会教育課長、岡田歴史文化財課長、岩崎学校給食センター所長 谷口みらい教育リサーチセンター所長、宮本人権教育担当課長			
事務局	井上事務局長、数井事務局次長			
傍聴	可	市民 0名	報道関係者 1名	議員名（山木、大西、木村、梅本、小川、齊藤）

会 議 の 概 要

10:00～

1 開議

【事務局日程説明】

10:01

2 議案審査

（議会事務局 席移動）

10:01～

【議会事務局】

（1）第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算（第8号）

議会事務局長 あいさつ

議会事務局次長 説明

10:04

《質疑》

なし

10:05

(議会事務局 席移動)

(市長公室入室)

10:05～

【市長公室】

(1) 第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

市長公室長 あいさつ
各課長 説明

10:20

《質疑》

<福井委員>

職員退職金の説明において、今年度は定年年齢引上げにより定年退職者がいないとあったが、定年年齢引上げ対象者が8名いると聞いている中で、実際は23名が退職するとのことで、その点について詳細な説明を願う。

<人事課長>

今年度に60歳を迎える職員が8名おり、そのうち4人は役職定年となって引き続き在籍され、残り4人が普通退職される。ほかに19名の普通退職者がおり、合計23人分の退職金を計上したものである。

<福井委員>

定年年齢引上げが始まることで退職金の見込みが難しいと思うが、従来はどのように退職金を算定していたのか。

<人事課長>

これまでは定年退職者がいたので、その人数分とほかに約2名分の退職金を当初予算に計上していた。

<三上委員>

19名が普通退職とのことであるが、例年より多いのか。

<人事課長>

例年より多い。

<三上委員>

そのうち若年層の退職者数は。

<人事課長>

3年目までの職員が6名である。

<三上委員>

退職の理由は把握しているのか。

<人事課長>

転職や遠方への転居、育児休暇中からの退職、疾病などである。

<松山委員>

ふるさと納税について、返礼品の発送期間はどのくらいか。

<ふるさと納税担当課長>

注文後1週間以内に到着するようにしているが、人気の返礼品は品薄となり期間がかかるため、事前にその旨を伝えるようにしている。

<松山委員>

市長からのメッセージは添えているのか。

<ふるさと納税担当課長>

市長からとはしていないが、メッセージカードを同封しており、事業者からの感謝のことばを添えている。

<浅田委員>

ふるさと納税の返礼品について、大きなトラブルはないか。

<ふるさと納税担当課長>

発送数がかかりの数に上るため、野菜が傷んでいたことや肉の冷凍が溶けていたなど、配送過程における事故は少なからずあるが、トラブルには早く対応し、特にインターネットに評価1のレビューが入った場合はすぐにフォローするようにしている。

<原野委員>

先ほどの疾病による普通退職者のうち、心の病の職員はいるのか。

<人事課長>

心の病の職員はおり、適応障害の診断がでている。

<原野委員>

人間関係で体調を悪くする場合は、柔軟に人事異動を行うなど対応しているのか。

<人事課長>

そういった対応をしているが、やむを得ず退職されることもある。

<原野委員>

休職制度はないのか。

<人事課長>

休暇制度として、90日間は療養休暇が取得でき、それ以後は休職となる。1年間は給与や手当が8割となる有給の休職期間であり、その後は無給の休職となるが、共済組合から傷病手当金が支給される。

(質疑終了)

10:40

(2) 第64号議案 亀岡市移住・定住促進施設「離れ」にのうみに係る指定管理者の指定について

SDGs創生課長

説明

10:42

《質疑》

<松山委員>

指定管理者と市との連携をどのように進めていくのか。

<SDGs創生課長>

毎月1回はミーティングをし、連携していきたい。

<原野委員>

離れにのうみを軸として、移住・定住に係る新しい事業を始めるのにどのくらいの時期が必要か。

<SDGs創生課長>

打合せや広報の期間を考えると半年は必要と考える。

(質疑終了)

10:45

(市長公室退室)

(政策企画部入室)

10:46～

【政策企画部】

(1) 第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

政策企画部長 あいさつ
各課長 説明

10:54

《質疑》

<松山委員>

公益施設整備基金の内容と残高は。

<財政課長>

公益施設の計画的な整備を図るため、開発協力金を原資に設置した基金であるが、平成24年に開発協力金を廃止したため、現在収入はない。今はそれぞれの条例の規定により取り崩して財源充当している。令和5年度現在高は6,734万9,638円であり、基金がなくなれば廃止となる。

<松山委員>

今後の施設整備の進め方は。

<財政課長>

ハード事業の推進に当たっては、国庫補助金や優良起債を充当し、年度間の調整として財政調整基金を活用して進めていきたい。

(質疑終了)

10:58

(政策企画部 退室)

(生涯学習部 入室)

10:59～

【生涯学習部】

(1) 第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

生涯学習部長 あいさつ
各課長 説明

11:19

《質疑》

<福井委員>

梅岩の里の整備に係る寄附額の現状は。

<市民力推進課長>

令和4年度末で2億7,837万1,000円あり、令和5年度中に7,163万円の寄附があったので、現時点で3億5千万1,000円である。これまでの取り崩し額が4,617万4,000円のため、今年度末残高は3億382万7,000円となる見込みである。

<福井委員>

何件分か。

<市民力推進課長>

企業版ふるさと納税の2件を合わせて、9,968件である。

<福井委員>

完成した後、寄附された方の多くは来館されると思うので、そういう人は大事にし、今後の運営に役立てていただきたい。

<原野委員>

かめおか霧の芸術祭について、文化芸術創造拠点形成事業補助金を歳入で補正しているが、クラウドファンディングとの関係はどうか。

<文化国際課長>

当初予算ではクラウドファンディングによる歳入を充当していたが、文化庁の補助金として文化芸術創造拠点形成事業補助金が採択され、交付金額が確定したことから歳入の組替補正を行うものである。

(質疑終了)

11:27

(2) 第66号議案 亀岡市社会体育施設に係る指定管理者の指定について

生涯スポーツ課長 説明

11:29

《質疑》

なし

11:29

(生涯学習部 退室)

(総務部 入室)

11:30～

【総務部】

(1) 第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

総務部長 あいさつ
自治防災課長 説明

11:38

《質疑》

<福井委員>

京都中部広域消防組合負担金減は事業費が多く精算するものか。

<自治防災課長>

そうである。

<山本委員>

コミュニティ推進経費は、各自治会を指定されての寄附であると思うが、自治会の内訳はどうか。

<自治防災課長>

資料を持ち合せていない。

<山本委員>

亀岡市から離れて暮らしている方からの寄附か。

<自治防災課長>

市外からが多いが市内の方もおられる。

<山本委員>

寄附された具体的な自治会は分からないとのことであるが、特定の自治会に集中している傾向はあるのか。

<自治防災課長>

河原林町が力を入れており、寄付額が多いと記憶している。

<山本委員>

ほかの自治会に広がるように周知を願う。

<松山委員>

京都中部広域消防組合負担金の積算の根拠は。

<自治防災課主幹>

人口や交付税、消防隊の比率などで算出している。

<浅田委員>

地域版ふるさと納税をPRする場合、何か返礼品を渡すことはできないのか。

<自治防災課長>

現制度では返礼品は渡せない。

<原野委員>

消防団経費について、退職者数と年齢は。

<自治防災課主幹>

39名が退団し、退職金交付対象者が35名である。年齢は資料を持ち合わせていない。

<福井委員>

自治会版のふるさと納税を区にすることは可能か。

<自治防災課長>

可能である。

(質疑終了)

11:47

(総務部 退室)

(会計管理室 入室)

11:48～

【会計管理室】

(1) 第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

会計管理室長	あいさつ
財産管理課長	説明

11:54

《質疑》

<福井委員>

行政が電気自動車を購入する場合、国からの補助金は交付されないのか。

<公用車管理担当課長>

55万円を上限に交付される。

<福井委員>

リースの場合はどうか。

<公用車管理担当課長>

リースの場合は、補助金をリース会社が受領し、リース料金に反映される仕組みで

ある。

<福井委員>

そもそもなぜリース契約とするのか。

<公用車管理担当課長>

電気自動車の場合、購入後8年たてば充電率が70パーセントを下回ってくるため、5年間のリースで更新するのがよいと考えている。

(質疑終了)

11:58

(2) 第84号議案 令和5年度亀岡市亀岡財産区特別会計補正予算(第1号)

第85号議案 令和5年度亀岡市篠財産区特別会計補正予算(第1号)

財産管理課長

説明

12:04

《質疑》

<原野委員>

亀岡財産区の歳入の公園整備料について、草刈り作業費用として7,000円増額と説明にあったが、主な理由は何か。

<財産管理課長>

資料を持ち合せていないので分からない。

<竹内副委員長>

亀岡財産区管理会委員をしているため、情報提供する。作業する広さが増えたための収入増である。

<三上委員>

両財産区とも除伐・間伐等業務委託料を減額補正しているのは作業ができなかったからか。

<財産管理課長>

亀岡財産区は当初予算で積算していた作業人数より少ない人数で実施できたためであり、篠財産区は事業ができなかったため減額補正されるものである。

(質疑終了)

12:08

(会計管理室退室)

(休憩)

12:08~13:15

(教育部 入室)

13:15~

【教育部】

(1) 第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

教育部長 あいさつ

各課長 説明

13:51

《質疑》

<山本委員>

学校施設管理経費の防犯カメラについて、学校のどこに設置する予定か。

<教育総務課長>

設置場所は校舎の出入口付近で、1校当たり4基から6基の設置を考えている。亀岡川東学園は既に3基設置済みであり、追加分を含めて計7基となる予定である。

<山本委員>

管理体制はどうか。

<教育総務課長>

モニターを職員室に設置して映像の確認ができるとともに、一定期間録画して後日見ることできるように考えている。

<山本委員>

録画できる期間はどのくらいか。

<教育総務課長>

おおむね1か月間は記録できるようにしていきたい。

<松山委員>

使用運営上のマニュアルはつくるのか。

<教育総務課長>

令和6年度に予算を繰り越し、一年をかけて設置していくこととしており、適切な時期にマニュアルをつくる予定である。

<浅田委員>

プライバシーの観点から設置してほしくないとの声があると聞いていたため、設置後に学校の判断で録画しないというようなことのないようにしていただきたい。

<教育総務課長>

防犯上の抑止力もあることから、必ず録画していただくよう教育委員会から学校に伝えていく。

<福井委員>

不登校対策経費、フリースクールに通う児童生徒への補助金について減額しているが、今年度の実績はどうか。

<学校教育課長>

408万円を令和5年度当初予算に計上し、実績見込みは21件の225万5,000円である。

<福井委員>

その21件はフリースクールに通っている児童生徒の全ての数か。

<学校教育課長>

学校を出席した扱いとできる件数で、すなわち補助対象の数が21件である。それ以外に週1回や午後だけ通っている児童生徒もいると思うが、総数は把握していない。

<原野委員>

南桑中学校のトイレ改修工事は具体的に何をするのか。

<教育総務課長>

洋式化するものである。

<浅田委員>

七谷川のアスレチック遊具の改修について、寄附が見込めずに断念されるところであるが、楽しみにされていた方もおられるため、どうしても更新できないのか。

<社会教育課長>

今回は残念な結果となったが、今後も魅力を高めていかななくてはならないと思っており、指定管理者と優先事項を共有してこれからの方向性を検討していきたい。

<松山委員>

キャリア教育の府補助金がなくなったとのことであるが、その理由は。

<学校教育課長>

京都府としてはキャリア教育に限定した補助金は廃止し、より自由度の高い子どもの教育のための総合交付金を新設されるため、キャリア教育を継続するか、別の事業を実施するかは各自治体の判断となったところである。

(質疑終了)

14:05

(2) 第65号議案 亀岡市七谷川野外活動センターに係る指定管理者の指定について

社会教育課長 説明

14:07

《質疑》

なし

14:07

(教育部 退室)

14:08～

3 討論～採決

《委員間討議》

なし

(休憩)

14:10～14:24

《討論》

なし

《採決》

<小林委員長>

賛成者は挙手願う。

第64号議案 亀岡市移住・定住促進施設「離れ」にのうみに係る指定管理者の指定

挙手全員 可決

第65号議案 亀岡市七谷川野外活動センターに係る指定管理者の指定

挙手全員 可決

第66号議案 亀岡市社会体育施設に係る指定管理者の指定

挙手全員 可決

第77号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算（第8号）

挙手全員 可決

第84号議案 令和5年度亀岡市亀岡財産区特別会計補正予算（第1号）

挙手全員 可決

第85号議案 令和5年度亀岡市篠財産区特別会計補正予算（第1号）

挙手全員 可決

《指摘要望》

4 その他について

(1) 令和6年度他都市先進地行政視察について

<事務局次長>

行先候補として、昨年度に抽出いただいた先進市を一覧表に挙げている。また、先日から希望を募ったところ、2件の提案があり、同じく一覧表に追記している。日程及び行先について、お諮りいただきたい。

<小林委員長>

日程は5月20日から24日までの5日間のうち、二泊三日で実施することによいか。
—全員了—

<小林委員長>

行先について意見はあるか。

<三上委員>

新しく挙げていただいた2市を優先的に調整し、もう1市は昨年度行けなかった候補地から選出するか、ほかに先進的な取組をしている自治体を検討してはどうか。

<小林委員長>

今意見のあったようにしてよいか。

—全員了—

<小林委員長>

それでは、そのように進める。ただし、視察先の受入状況もあるため、行先と詳細な日程は正副委員長に一任いただく。

(2) 委員会のテーマについて

<小林委員長>

委員会のテーマであるが、今年度は「子どもに関する施策の充実について～学び・育成・権利～」としていたが、来年度のテーマはどのようにするか意見はあるか。

<福井委員>

2年任期の常任委員会であるため、特に変更しなくてもよいと思う。

<小林委員長>

それでは、来年度も引き続き同じテーマでよいか。

—全員了—

令和6年度委員会テーマ「子どもに関する施策の充実について～学び・育成・権利～」

(3) 次回以降の日程について

次 回 3月12日(火) 10:00から委員長報告の確認

散会 ～14:44